【「ソート」とトップ 10 のような「データ件数限定」の実行計画の例】

実行計画と実行統計

[A テーブルの Col に索引が 無い 場合]

A ① 実行計画の確認

explain plan for 文を使って、SQL 文の実行計画を検証する

ID	OPERATION	l	Name	
*1	SELECT STATEMENT COUNT STOPKEY 行数限定のカウント VIEW SORT ORDER BY STOPKEY TABLE ACCESS FULL	 IDXT	EST	

-
 - 1 filter (ROWNUM < 10)
 - 3 filter (ROWNUM < 10)
- A② アクセス・ブロック数の確認

autotrace を使って、Select 文の実行する

2014 consistent gets (アクセスしたブロック数(バッファ文+ディスク I/O 文))

- [B テーブルの Col に索引が 有る 場合]
- B ① 実行計画の確認

explain plan for 文を使って、SQL 文の実行計画を検証する

ID OPERATION			Name	
0	行数限定のカウント BY INDEX ROWID	-	TEST TEST_IDX	

1 - filter (ROWNUM < 10)

B ② アクセス・ブロック数の確認

autotrace を使って、Select 文の実行する

6 consistent gets (アクセスしたブロック数(バッファ文+ディスク I/O 文))